

平成30年度 三井病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	32	41	72	79	163	229	342	608	632	199

平成30年4月1日から平成31年3月31日までに退院した患者様について、人数を10歳刻みの年齢階級別に集計しています。全体退院患者数は2397名で、そのうち60歳以上が2397名、59歳以下が616名となっております。高齢化社会に伴い、前年度と同じく60歳以上の患者様が占める割合が7割を超えており、症状が比較的重症になりやすい高齢者の入院が多い傾向にあります。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 乳腺・消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 バ ス
090010XX01X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等2 なし	56	14.45	10.59	0.00	61.30	
100020XX010XXX	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等1 なし	11	9.36	8.68	0.00	49.27	
090010XX02X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）手術・処置等2 なし	10	7.9	6.23	0.00	56.1	
090010XX97X0XX	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	-	-	6.52	-	-	
090010XX99X4XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 4あり	-	-	4.28	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 乳腺疾患の代表である乳房の悪性腫瘍疾患の患者様を中心に、乳腺炎や良性腫瘍などの乳腺疾患全般、甲状腺の良性・悪性疾患に対する診断や治療を積極的に行っております。
 診断から手術、化学療法及び治療後の経過観察まで一貫して行っており、集学的治療の有無について納得がいくまで説明をさせていただいております。
 平成28年11月から遺伝子検査や遺伝子カウンセリングを行う遺伝カウンセリング外来を開設し、患者様にあったより良い対処法を選択する手助けをしております。
 平成30年9月から女性医師が常勤医として勤務しており、女性の患者様に更に安心して治療していただけるように努めております。

■ 消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 バ ス
060160X001XXXX	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	45	4.6	4.96	0.00	62.49	
060210XX99000X	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	29	8.35	8.95	3.45	66.48	
060150XX99XX0X	虫垂炎 手術なし 定義副傷病 なし	19	8.63	6.78	0.00	33.16	
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	19	6.42	7.30	0.00	64.05	
060335XX99X00X	胆嚢水腫、胆嚢炎等 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	16	12.56	10.72	0.00	61.31	

上下消化管、肝臓、胆膵の消化管疾患全般に幅広く対応しています。
 手術においては、開腹手術はもとより腹腔鏡下での手術も積極的に行っており、病状により患者様の意思を尊重し、手術ではなく保存的治

療も行っております。

腹腔鏡手術によって傷を小さくし、術後の回復が出来るだけスムーズに進むよう心がけておりますが、強い炎症癒着などで腹腔鏡操作が難しい場合には、開腹手術を行っています。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
160800XX01XXXX	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	80	28.41	26.30	77.50	79.88	
160690XX99XX0X	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰椎損傷を含む。）手術なし 定義副傷病 なし	49	20.83	19.61	57.14	79.06	
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	46	25.09	24.26	2.17	75.04	
160760XX97XXXX	前腕の骨折 手術あり	41	4.34	5.68	2.44	63.42	
160700XX97XX0X	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 定義副傷病 なし	28	5.18	6.07	3.57	492.86	

大腿、股関節、膝関節、脊椎、腕の外科疾患及び外傷性疾患を高い専門性をもって治療にあたっています。

最も多い疾患は大腿骨近位端骨折で、原因として高齢者の転倒によるものが多く、手術後にリハビリを行うため、回復期リハビリ病院や療養型病院等へ転院される方が多くあり、地域連携クリニカルパスを使用し、より良い医療を患者様に提供するために、他医療機関・施設と連携を図り治療にあたっております。

また、変形性関節疾患に対する人工関節置換術(膝・股)では質の高い関節外科治療を提供しており、術後早期よりリハビリテーションを開始し、早期退院、早期社会復帰が可能となるよう治療を進めております。

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060100XX01XX0X	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 定義副傷病 なし	126	2.06	2.67	0.98	71.15	
110310XX99XX0X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病 なし	64	14.25	12.58	14.06	78.70	
030250XX991XXX	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・処置等 1あり	62	2.04	2.00	0.00	55.04	
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	57	20.75	20.92	14.04	83.75	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	37	5.00	5.00	0.00	65.70	

当院の内科は、呼吸器、代謝内分泌、循環器など総合診療科で治療を行っており、大腸ポリープに対する内視鏡的手術や睡眠時無呼吸症候群の検査入院など、短期の入院にも力を入れております。

肺炎・誤嚥性肺炎、尿路感染症の患者も多く、平均年齢が80歳以上と高い傾向にあります。

様々な肺炎や尿路感染症などに対し抗生物質による薬物療法を行っております。

呼吸器疾患に対し、呼吸器リハビリテーションも行っております。

■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
110080XX991X0X	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 定義副傷病 なし	40	2.00	2.53	0.00	71.2	
110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	23	6.30	7.20	0.00	72.13	
11012XXX020X0X	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1 なし 定義副傷病 なし	16	3.25	5.62	0.00	59	
11013XXX06XXXX	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	-	-	5.64	-	-	
11022XXX04XXXX	男性生殖器疾患 包茎手術	-	-	3.82	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。

前立腺癌の疑いがある場合に行う前立腺針生検の検査入院が最も多く、早期発見に努めております。

他にも尿路、膀胱、陰茎、精巣関連などの手術を多く行っております。

泌尿器の悪性腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎盂がん等)に対しては、手術及びホルモン療法、化学療法を行っております。

■ 腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
090010XX99X6XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等	-	-	4.15	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。

眼科の入院はほぼ全て手術目的の入院です。

最も多いのは白内障の手術で、外来でも日帰り治療する事は可能ですが、ご高齢の方や糖尿病など管理が必要な病気のある方には入院での治療を勧めています。

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数 [ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	1	8
大腸癌	-	-	-	-	15	-	1	8
乳癌	25	40	-	-	19	-	1	8
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	8

※ 1：UICC TNM分類， 2：癌取扱い規約

患者数が10未満の数値には「-」としています。

5大癌とは、胃癌・大腸癌・乳癌・肺癌・肝癌のことを表します。

ステージ(Stage)とは、がんの深さや広がり(T)、リンパ節転移の有無(N)、多臓器への浸潤・転移の有無(M)などによって決定されます。

0～IVに分類され、ステージIVが最も進行した病期分類となります。

Stageが「不明」の症例は、退院までに検査結果が明らかでないものも「不明」件数に含まれています。

胃癌ではStage Iが占める割合が多くなっていますが、早期癌に対する内視鏡的治療などを積極的に行っていることが理由に挙げられます。

成人市中肺炎の重症度別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	61	14.97	75.02
重症	33	19.12	82.49
超重症	8	22.88	86.50
不明	0	0	0

市中肺炎とは、病院や施設外で日常生活をしていた人が発症した肺炎。

軽症の場合は外来治療が基本となりますが、当院では中等・重症が多く、重症度において年齢が高いほど重症化しやすい傾向にあります。患者様に先天性疾患やがんの既往があったりした場合、比較的軽微なケースでも重症化する恐れがある場合は入院となることもあります。

脳梗塞の患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	36	25.59	77.83	58.33
その他	30	8.18	71.97	18.75

救急で搬送される患者様も多く、常に受け入れることが出来るように体制の確保に努めています。

地域連携クリニカルバスを使用し、回復期リハビリ病院、療養型病院、介護施設等と連携し総合的な治療管理を行っています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） [ファイルをダウンロード](#)

■ 乳腺・消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	31	1.77	14.16	0.00	62.61	
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	19	1.90	7.05	0.00	59.68	
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	10	1.20	7.20	0.00	48.10	
K4742	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	-	-	-	-	-	
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。

乳癌の病態、進展度、腫瘍径などにより、乳房の温存、腋窩リンパ節郭清の省略を図る各種の術式を行っています。大きな腫瘍に対して

腫瘍の縮小を目的に術前に化学療法を行い、乳房を温存する治療も行っております。
 同時乳房再建も年々増えており、当院では平成30年6月からは二期再建も可能となりました。
 患者様の病態やニーズに合わせ、複数の選択肢の中から最も適した治療法を提案しております。

■ 消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	44	1.00	2.55	0.00	61.96	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	25	1.64	4.27	0.00	64.24	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	10	9.80	19.10	0.00	75.10	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	-	-	-	-	-	
K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	-	-	-	-	-	

腹腔鏡を用いた手術が上位を占めており、開腹で行う手術と比べ、傷が小さく患者さんの負担も少ないため早期退院が可能で、早期の社会復帰が見込まれます。
 良性・悪性にかかわらず腫瘍性疾患に対して、腹腔鏡を用いた低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。
 鼠径ヘルニアや胆嚢摘出術等はクリカルパスを用い、治療の過程を明確にして、安全で合理的な医療の提供を行えるように努めております。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（肩）	77	1.60	15.04	11.69	70.36	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨）	60	3.90	19.57	53.33	74.68	
K0462	骨折観血的手術（下腿）	48	1.94	9.38	2.08	58.94	
K0811	人工骨頭挿入術（肩）	40	4.45	23.13	77.50	80.23	
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）	30	1.00	1.40	0.00	57.27	

患者数は、1回の入院で複数(両側等)の手術を行った場合は主の手術1つのみカウントされています。
 1位：大腿骨近位端骨折や関節の変形が原因の変形性股関節症・膝関節症に対し、人工関節置換術を多く行っています。
 2位：K0461骨折観血的手術には大腿・上腕・肩甲骨の合算症例件数となっております。
 骨折や変形の具合により、自家骨移植や人工骨移植を行っており、骨折観血的手術後には、骨折治癒を促進する超音波骨折治療法を積極的に行ってまいります。
 4位：人工骨頭挿入術(股)は大腿骨頸部骨折に対して行ってまいります。
 術後には、早期にリハビリテーションを実施し、1日も早い回復が望めるよう理学療法士をはじめ、医師・看護師と連携を取り、チーム医療を行っております。
 長期のリハビリが必要とされる場合は、回復期リハビリ病院や療養型病院等へ転院されております。

■ 内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	122	0.15	1.05	1.02	71.10	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	28	4.32	9.79	3.57	72.82	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	19	15.16	20.05	47.37	85.05	
K6871	内視鏡的乳頭拡張術	10	4.10	6.20	10.00	78.90	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 消化器内科の専門医が常勤医3名、非常勤医数名と多く在籍しており、大腸のポリープに対する内視鏡的手術が最も多い症例で、入院当日の手術で翌日退院する1泊2日入院が基本ですが、前処置の為前日からの入院も受け入れております。病変が早期の段階での治療に努めています。
 他にも、早期胃がんに対する手術、胆道疾患における結石の除去・ステント留置等の手術を多く行っております。
 胃瘻造設は脳卒中後遺症及び高齢に伴う嚥下機能の低下で十分な食事を摂取することが困難な場合や誤嚥を繰り返す場合などに患者様及びご家族と相談の上行われます。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K80360	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	23	0.96	4.35	0.00	72.13	
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	16	0.06	2.19	0.00	59.00	
K8282	包茎手術（環状切除術）	-	-	-	-	-	
K7981	膀胱異物摘出術（経尿道的手術）	-	-	-	-	-	
K8352	陰嚢水腫手術（その他）	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 経尿道的膀胱悪性腫瘍手術は、早期に発見された浸潤性でない膀胱がん患者に対して行っています。

上記手術の他に、経尿道的尿路結石・膀胱結石除去術などは、クリニカルパスを使用し短い期間で退院しております。
包茎手術は、小児から成人まで幅広く手術を行っております。

■小児外科

Ｋコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	13	0.00	1.00	0.00	4.73	
K836	停留精巣固定術	-	-	-	-	-	
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	-	-	-	-	-	
K0301	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（下腿）	-	-	-	-	-	
K6333	臍ヘルニア手術	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
小児ヘルニアの手術はクリニカルパスを使用し2日以内に退院しており、停留精巣等の手術も概ね2日以内で退院しております。

■脳神経外科

Ｋコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K0003	骨格筋採取（筋肉等に達する、長径10cm以上、その他）	-	-	-	-	-	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨）	-	-	-	-	-	
K6871	内視鏡的乳頭拡張術	-	-	-	-	-	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
脳梗塞後遺症等により経口摂取が困難、あるいは、誤嚥性肺炎が危惧される場合など、栄養剤等を直接胃に投与するため、腹壁から胃内に達する経路を造設します。

■眼科

Ｋコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	33	1.00	1.00	0.00	77.00	
K215-2	眼瞼結膜腫瘍手術	-	-	-	-	-	
K2822	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない）	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
眼科では、白内障手術(水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合))が最も多く、短期間の入院で、片側ずつ手術を実施しております。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

患者数が10未満の数値には「-」としています。
重篤な疾患である播種性血管内凝固症候群(DIC)、敗血症、その他の真菌症感染について、発生率を集計しています。
これらは重篤な主疾患の合併症として発症しているケースが多いため、臨床ゼロにはなりえないものですが、
起こり得る合併症については、事前に可能な限りに患者様に説明した上で同意をいただき、発症が最小限になるように努めております。

更新履歴